

# 健康の ススメ

今回のドクター

医学博士  
古嶋 博司



テーマ

## 心房細動による 脳梗塞にご用心

雪下ろしが鳴り響き、冬将軍の到来も間近です。冬は心臓病、脳卒中が発症する率が高くなることが知られています。高血圧、糖尿病などの持病を持っている方は特に注意が必要です。そんな脳卒中の中でも今回は心房細動による脳梗塞を取り上げます。

心房細動は不整脈の中でも頻度が多いもので、年齢が増すとともに発症率が高くなり、70代で20人に1人、80代では10人に1人が罹患しているといわれています。心房細動は、心臓の心房という部屋が小刻みに震え、脈拍が不規則になる不整脈です。動悸や胸痛などの自覚症状が見られることがありますが、無症状の方も少なくありません。

この病気はいわゆる心臓病なのですが、一番怖い余病は脳の病気、脳梗塞なのです。ミスタージャイアンツで有名な監督も、以前、サッカーW杯の直前で倒れた外国人監督も、実はこの心房細動による脳梗塞でした。脳梗塞が起こる原因は、心房にできる「血栓」という血の塊で、これが血液の流れに乗って脳へ運ばれ、大きい血管を詰まらせることにより生じます。突然詰まりますので、発症直前まで元気な方が突然重い障害を持つようになり、本人はもちろん家族の方もショックが大きい病気です。

この脳梗塞を予防するため、まずは心房細動を放っておかないことが重要です。健診で指摘されたり、自分で脈をとっておかしいと思えば、すぐに専門医に相談することが重要です。脳梗塞の予防には血液をさらさらにする薬を服用することもあります。高血圧、糖尿病などの持病を持っている方は健康な方より発症しやすいといわれていますので、特に注意してください。

### 内科・循環器内科 ふるしまクリニック



診療科目 / 内科・循環器内科  
診療時間 / 月・火・木・金曜日 9:00~12:30、15:00~18:00  
水・土曜日 9:00~12:30  
休診日 / 日曜、祝日 ※12/29~1/3は年末年始休診  
所在地 / 中央区姥ヶ山5-6-20  
電話 / 025-257-7070

ふるしまクリニック 検索